

中国地方整備局同時発表

平成30年7月
豪雨関連

平成30年7月17日
道路局企画課

第3回 広島県災害時渋滞対策協議会の結果について

○ 本日開催した「広島県災害時渋滞対策協議会」の結果について、別紙のとおり、お知らせします。

(参考) 第3回 広島県災害時渋滞対策協議会

1. 日時 平成30年7月17日(火) 14:00~15:15
2. 場所 中国地方整備局 2号館7階4号会議室

問い合わせ先:

道路局 企画課 道路経済調査室 川村 (内線 37632)

(代表) TEL. 03-5253-8111

(企画課直通) TEL. 03-5253-8485 FAX. 03-5253-1618

中国地方整備局 道路部 道路計画課 吉田 (内線 4211)

(代表) TEL. 082-221-9231 (夜間) TEL. 082-511-6301

第3回 広島県災害時渋滞対策協議会の結果概要

<国道31号交通量>

- 本日の朝ピーク時間帯(7/17(火)6~9時)の国道31号の交通量は、連休前(7/13(金)6~9時)と比較して、約1.2倍に増加。

7/13(金) 約3,560台/3h → 7/17(火)約4,110台/3h

<バス運行>

- 国道31号の緊急交差点改良や、広島呉道路の天応西IC~呉IC間のバスを通行可能とする運用等の対策により、呉駅から広島バスセンター方面(6~9時発)の所要時間が連休前(7/13)の約2~3.5時間から約1時間※に短縮。 ※被災前とほぼ同様

- 一方、広島バスセンターから呉駅方面のバスの所要時間(6~9時発)は約2時間となっており、広島呉道路の天応西IC~呉IC間の運用方法の拡充を検討。

※現在は、午前は広島方面、午後は呉方面に限定

<広域迂回誘導>

- 山陽道・東広島呉道路を利用した広域迂回誘導については、東広島呉道路の交通量が約1.3倍、山陽道の高屋ICの出入交通量が約1.5倍となるなど、一定の効果が見込まれる。

東広島呉道路 7/3(火) 約3,570台/3h → 7/17(火)約4,720台/3h

山陽道 高屋IC出入 7/3(火) 約1,030台/3h → 7/17(火)約1,580台/3h

<交通量抑制の呼びかけ>

- 国道31号の交通量が増加したため、住民や民間企業への相乗り等の交通量抑制の呼びかけを強化。

(以上)